



## 歩んだ先にあるもの

校長 五十嵐 更加

例年、大雪が報道される岩見沢も、今年は信じられないほど雪が少なく、校舎に差し込む光にも春の気配が感じられるようになってきました。

開校して1年を過ごし、子どもたちは日々の学校生活を重ねる中で、それぞれの歩みを確かに進めています。

イタリアで開催されたミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、世界中の選手たちが、自らの力を発揮しようと競技に臨んでいました。あの舞台に立つまでには、長い時間をかけた努力の積み重ねがあったはずで、私たちが想像できないほど、思うようにいかない日も、自信を持ってない時間も多くの葛藤もあったことでしょう。それでも、自分の歩みを止めずに続けてきたからこそ、心からの笑顔や涙があったのだと思います。

子どもたちの学びもまた、同じように日々の積み重ねの上に成り立っています。日々の授業、友達との関わり、委員会や係活動、日常の役割、そのすべてが子どもたちの力となっていきます。すぐに結果として表れるものばかりではありませんが、確実にその人自身の中に蓄えられ、次の一步を支える土台となっていきます。

この1年間、開校したばかりのくりさわ学舎のリーダーとして、様々な面で煌めきを見せてくれた9年生の卒業が迫ってきました。行事や清掃の時はもちろんのこと、登下校や休み時間に低学年と関わる9年生の優しいまなざしは、深く心に残っています。9年生の姿は、下級生にとって目標であり、その背中は次の学年へと受け継がれていくと信じています。このつながりこそが、9年間を共に過ごす義務教育学校ならではの大切な財産です。

また、児童生徒会によって、全校で鬼ごっこや外遊びを行う取組も進められています。今年度は、吹奏楽部によるミニコンサートなども開催されました。学年を越えて関わり合い、同じ時間を共有する中で、子どもたちは自然に互いを理解し、その関係を深めています。誰かに用意されたものではなく、自分たちで考え、行動する経験は、これからの時代をたくましくしなやかに生きる子どもたちにとって大きな意味をもつものとなります。

このように義務教育学校の9年間は、単なる時間の長さではなく、成長が積み重なり、つながっていく時間です。上級生の姿に学び、憧れ、やがて自分自身がその役割を担っていく。その繰り返しの中で、子どもたちは自らの力で前へ進む力を身につけていきます。

今年度も残すところ、あと1ヶ月となりました。この1ヶ月は、これまでの歩みを確かなものとし、次の歩みへとつなげていく大切な時間です。特別なことではなくても、今、自分にできることに丁寧に向き合うこと、そんな毎日を大事に過ごしていきたいと思っています。

## 岩見沢市立くりさわ学舎 3月学校行事予定

日	曜	行事	SBI3:15	SBI4:45	SBI5:45	SBI8:00
1	日					
2	月	7・8年後期期末テスト		○		※17:15
3	火	1st授業参観日・懇談会	○	○		※17:15
4	水	道立高等学校入学者選抜(学力検査)	※11:45	○		
5	木	道立高等学校入学者選抜(面接等)		○		※17:15
6	金	9年生を送る会		○		※17:15
7	土	岩見沢地区小学生バレーボール新人戦大会				
8	日					
9	月	2nd3rd 授業参観日・懇談会		○		※17:15
10	火			○		※17:15
11	水		○	○		※17:15
12	木	第1回卒業証書授与式	※12:00			
13	金	委員会活動日	○	○		※17:15
14	土					
15	日					
16	月			○		※17:15
17	火	道立高等学校合格発表		○		※17:15
18	水			○		
19	木			○		※17:15
20	金	春分の日				
21	土	吹奏楽部第2回定期演奏会				
22	日					
23	月			○		※17:15
24	火	第1回立志式	※12:00			
25	水	修了式 離任式	※11:45			
26	木	年度末休業				
27	金	↓				
28	土					
29	日					
30	月					
31	火	↓				

3月11日が今年も近づいてきました。東日本大震災の発生以来、日本全体で防災意識が高まりましたが、時間の経過とともに、その意識が薄れてしまうこともあります。

ここ岩見沢市でも、地震や大雪、暴風雪など、さまざまな自然災害のリスクがあります。特に冬の時期には、豪雪による交通の混乱や停電、孤立などが心配されます。また、今後数十年以内には北海道沖で大きな地震が発生する可能性も指摘されています。

災害が起きてからでは、自分や大切な人を守るのはとても難しくなってしまいます。この機会に、家族や友だちと一緒に、避難場所や連絡手段、冬の寒さに備えた対策など、非常時の行動について話し合ってみてください。

《基本理念》

- ◆くりさわで学んでよかった
- ◆くりさわで育ってよかった
- ◆くりさわで生きてよかった

校訓



教育目標

- ◆自ら学ぶ
- ◆よりよく育つ
- ◆大事に生きる



《9年間でめざす児童生徒像》

ふるさとに誇りを持ち、生涯にわたって学び続け、自らの人生をたくましく、しなやかに生きぬく児童生徒

全回答者による全項目の肯定的な回答の割合

**87.2%**

《ステージごとのめざす姿》

	自ら学ぶ (知)			よりよく育つ (徳)			大事に生きる (体)		
	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd
	基礎・基本を理解・活用することができる			自ら進んで元気な挨拶ができる			基本的な生活習慣を身につけることができる		
知識および技能 (どんな力を身に付けるか)	書く・読む・話す・計算することができる 92	書く・読み取る・伝える・工夫して計算することができる 92	書く・読み取る・伝え合う・活用する、工夫して計算する、合理的に活用することができる 83	自分の気持ちに気づくことができる 92	他者の気持ちを想像することができる 98	自分を尊重することができる 95	早寝早起き等、生活のリズムを整えることができる 83	食事のマナーを身につけ、感謝して食事をすることができる 75	進んで体を動かすことができる 72
85.6	保護者・CS・マロン 87.5 教職員 85.8			保護者・CS・マロン 85.0 教職員 95.5			保護者・CS・マロン 73.5 教職員 68.5		
思考力・判断力・表現力 (どんなことを考え表現するか)	気づいたことを自分の言葉で表現できる 92	相手の考えを尊重しながら協働対話ができる 98	対話をおとして考えを深めることができる 98	自分の気持ちを自分の言葉で伝えることができる 83	自分の気持ちを優しい言葉を選んで伝え合うことができる 82	他者を理解し、配慮ある伝え方ができる 95	自分の心身を大事にすることができる 92	自分と友達・家族の心身を大事にすることができる 94	100
87.5	保護者・CS・マロン 79.6 教職員 95.5			保護者・CS・マロン 81.7 教職員 86.4			保護者・CS・マロン 81.7 教職員 76.2		
学びに向かう力、人間性等 (どんな態度を養うか)	次に学びたいことを考えることができる 92	自ら課題を見つけることができる 78	課題解決のために探究的な学習ができる 86	友達と仲良く過ごし、どんなことにも一生懸命がんばろうとする 95	相手の気持ちを考え、自分の力を精一杯発揮することができる 98	自分の将来や全体のことを考え、次の目標に臨むことができる 86	命の大切さを知り、進んで体を動かしたり、規則正しい生活を身に付けようとしたりすることができる 90	86	92
87.3	保護者・CS・マロン 68.2 教職員 68.2			保護者・CS・マロン 85.8 教職員 95.0			保護者・CS・マロン 75.6 教職員 85.8		
活動の具体	9年間に育てたい資質・能力の実現に向けた教育課程の編成・実施・評価・改善								
85.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>身に付ける資質・能力を明確にした授業づくりに向けた研修の充実</li> <li>UDを意識した学習環境の整備</li> <li>FSPによる探究的な学習の充実</li> <li>読書活動の充実</li> <li>使える英語の習得</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ピア・サポート、ソーシャルスキルトレーニングの取組</li> <li>特別の教科道徳の充実</li> <li>ふるさと学習、SDGs、キャリア教育、情報モラル教育の推進</li> <li>特別支援教育の充実</li> <li>教育相談の充実</li> </ul> (児童生徒が相談しやすい環境の整備)			<ul style="list-style-type: none"> <li>体力向上の取組</li> <li>食育の充実</li> <li>防犯、安全、防災教育の充実</li> <li>生活リズムチェック表の活用</li> <li>性教育の推進</li> <li>SNSと健康の関連を踏まえた適正な利用を図る取組</li> </ul>		
	児童生徒 88.2 保護者・CS・マロン 61.6 教職員 95.1			児童生徒 87.5 保護者・CS・マロン 83.4 教職員 97.0			児童生徒 91.1 保護者・CS・マロン 75.8 教職員 84.2		

過日実施いたしました学校評価につきまして、集計が終わりましたので、ご報告いたします。皆様からいただきましたご意見につきましては教職員及び学校運営協議会（栗沢CS）にて拝読しました。内容について共通理解をしながら、次年度の教育活動に生かせる点は反映してまいります。詳細版はくりさわ学舎ブログにて公開しておりますのでご確認ください。

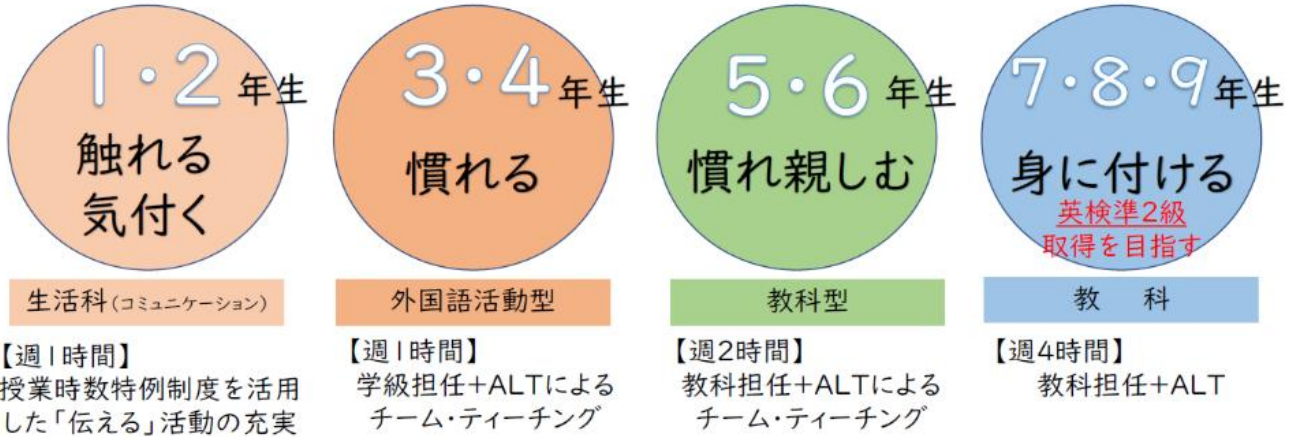


ブログ QR コード  
是非ご覧ください。

本校は学校や地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するため、教科等の授業時数の配分について一定の弾力化による「特別の教育課程」の編成を認める制度を活用しています。

# 9年間を見通した英語

- ①グローバル化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成
- ②自分の思いや考えを表現するプレゼンテーション能力の育成



栗沢の地域に誇りをもち、世界へ発信できるグローバル人材を育成します。

## 本校外国語教育の特色

### ★ 授業デザイン

児童の発達段階に応じて、歌やダンスなどを取り入れた活動や、他教科との関連を図った内容を工夫し、子どもたちの興味・関心を引き出す授業を行っています。

### ★ 専門教員による指導

外国語の免許を持つ教員が授業を担当し、指導の質を高めています。また、教科担任制を導入することで、前期課程(小学校)から後期課程(中学校)への円滑な接続を図っています。

### ★ 基本的に All English

授業は基本的に英語で行い、英語に触れる時間を多く確保しています。日常的に英語を使う環境を整えることで、自然な言語習得を目指しています。



← 授業時数特例校制度について  
← は岩見沢市教育委員会 HP に  
← 詳細が掲載されています。



くりさわ学舎の外国語授業の→  
ようすの動画は、ブログにて→  
紹介しています。 →





# 東光だより

子どもが煌めく東光中学校

学校教育目標

## 志 絆

【めざす生徒の姿】

- 将来の夢や理想を追求する生徒
- 感謝の心を忘れない生徒
- 学び続ける生徒
- 自らの責任を果たして社会に貢献できる生徒
- 命と愛を大切にしている生徒

【学校ブログ】



岩見沢市立東光中学校 学校便り  
 令和8年2月24日 No.12  
 発行責任者 校長 木内 一樹

## 「栄冠よ、キミに輝け」

校長 木内 一樹

久々に中学校に勤務する私にとって、「高校入試」はちょっとした懐かしさと同時に、事務手続き等に間違いが許されないこともあり、大いに緊張感を覚える出来事です。私ですらそうなのですから、当事者である3年生にとっては、やはり緊張や不安を禁じ得ない一大イベントと言えるでしょう。すでに先月から私立高校の推薦入試が始まっており、「合格内定」をいただいた生徒も何人かいます。今月中旬には、公立高校推薦入試、私立高校一般入試が行われ、いよいよ来月4日（水）に公立高校一般入試が行われます。積み重ねてきた全ての努力が報われる…。そんな結果が得られることを心より願っています。

数年前、定期テストを廃止した学校のことを話題に上りました。「テストはその子どもの瞬間最大風速のみを測るもので、それでは正しく学力は測れない」というのが主たる理由であったと記憶しています。確かにその通りですし、一夜漬けで覚えた知識はあっという間に消失します。しかし一方で、あらかじめ決められた時と場において自分の最大限のパフォーマンスを発揮する能力は、実社会においてとても大事なものではないか…とも思います。各種検定試験でもスポーツの大会でも吹奏楽等のコンクールでも、少なくとも1年前にはおおよそその実施日が決まっています。そしてそこに向かって、逆算して準備をするのが一般的です。高校入試も同様で、ある日突然「明日、試験ね」などというものではありません。だとすると、「瞬間最大風速」を高めたりコントロールしたりする能力は、人生をより豊かなものにするために必要なものではないか…とも思います。

では、「瞬間最大風速」を高めるためにはどうすればよいのでしょうか。遠回りに思えるかもしれませんが、「平均風速」を高めることが一番効果的と言えるでしょう。筆記試験で言えば、普段平均50点の人が本番で都合良く100点をとることはまずできません。面接も同様で、普段いい加減な生活態度だと、いくら取り繕おうとしても本番でそれが露呈するのです。つまり、ここぞという本番で力を発揮するためには日々の努力や心がけが重要だということです。

年明け以降、50名ほどの3年生と校長室で面接練習を行う機会を得ました。「制服忘れました、スイマセン!」という微笑ましい(?)生徒も数名いましたが、どの生徒も付け焼き刃ではない立派な立ち振る舞いができていました。私は全員に共通して、「あなたが本校を志望した動機・理由は何ですか?」と尋ねていますが、自分の言葉でしっかりと思いを表現する姿は感動的でした。全ての3年生の希望進路が実現すること、そして卒業まで残り3週間、最後まで1・2年生に「カッコいい」姿を見せ続けてくれることを心から期待しています。



身に付けさせたい  
 資質・能力

自分で考える力



考えを表現する力



自分を大切にできる力



失敗に負けずにチャレンジする力



## 卒業までのカウントダウン

第79回卒業証書授与式を以下のとおり行う予定です。3学年保護者の皆様には、別途案内文書を配布していますのでご確認ください。1・2年生の保護者の皆様は卒業式に伴う日課変更のお知らせを配布していますので、そちらで下校時刻をご確認ください。



### ☆期日・日程

令和8年3月12日(木) 9:15開式 終了予定11:15 下校 11:45

### ☆参加者

全校生徒、卒業生保護者、来賓(PTA三役及び学校運営協議会委員)、教職員

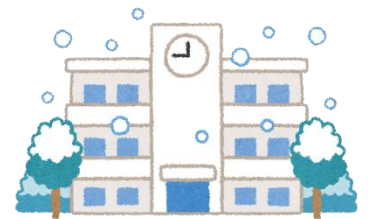
### ☆留意事項

駐車場が狭く、ご迷惑をおかけします。生徒玄関前は来賓専用とさせていただいておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



## 令和8年度に向けて

2月17日(火)に保護者の皆様には学校評価アンケートの結果と自由記述に対する回答を送信いたしました。また、18日には学校運営協議会委員さんからもご意見をいただき、次年度の教育活動に向け、準備を加速させているところです。また、文部科学省授業時数特例校制度を継続して運用し、特に子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を明確にした教育活動を展開いたします。



### 【令和7年度学校評価アンケート概要】

#### ☆保護者アンケート

#### ○肯定的評価が85%以上だった項目 ●肯定的評価が75%以下だった項目

- 教科等の指導において、アナログとデジタルのよさを適切に生かした授業か前に取り組んでいる。
- 生徒の交通安全やけが等の防止について適切に指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。
- 特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。
- 学校だよりや学級通信、メール配信システム等で積極的に情報を発信している。
- 校区の小学校との関わりを大切に、連携・協働した取組を行っている。
- 生徒の学力や体力などの状況を把握し、その向上に向けて指導を行っている。
- 学校生活を通して、コミュニケーション能力や善悪の判断ができる力を身に付けるように指導している。
- 教職員が同じ姿勢で教育活動に取り組んでいる。
- お子様は、家庭学習に計画的に取り組んでいる。

#### ☆生徒アンケート

#### ○肯定的評価が90%以上だった項目 ●肯定的評価が70%以下だった項目

- 授業は、タブレットやノート、プリントなどをうまく活用し、自分で考えたり、調べたりすることができる。
- 思いやりをもって人に接し、いじめや差別を許さない態度で生活している。
- よりよい集団生活が送れるよう、学校・学級のきまりやルール、マナーを守って生活している。
- ピア・サポートの授業では、人との上手な関わり方やコミュニケーションの大切さを学ぶことができる。
- 友だちと仲よく生活している。
- 登下校や校外生活において、交通に関するルールやマナーを守り、安全に気を付けて生活している。
- 学校からの連絡などは、保護者へ確実に伝えるようにしている。
- 地域のことを大切に思い、地域に貢献するためにボランティア活動や防災学習に積極的に取り組んでいる。
- 家庭学習を計画的に取り組んでいる。
- 地域の一員として、地域の行事や活動に対して積極的に参加している。

# 令和8年度学校経営方針(抜粋)

## 【経営の基本】

創立78年の歴史と伝統を重んじ、校区及び岩見沢市に根ざした活気と風格ある校風の確立に努め、希望と誇りをもちたくましく未来へ向かう子どもを育成する。

## 【学校教育目標】

- ・志(こころざし) [夢・理想・感謝・学]
- ・絆(きずな) [責任・貢献・命・愛]

## 【目指す姿】

(1) 目指す生徒像と育成を目指す資質・能力

観 点	生徒像	将来の夢や理想を追求し、感謝の心を忘れず、学び続ける生徒	自らの責任を果たして社会に貢献し、命と愛を大切にする生徒
知識及び技能 【何を学ぶか】		学習の基盤となる基礎的な知識・技能及び <b>情報活用力</b> を身につける。	あいさつ、礼儀・マナーの価値理解を通じ <b>敬愛力</b> を高め、他者に敬意をもって接する。
思考力・判断力・表現力等 【どのように学ぶか】		<b>傾聴力</b> を発揮し多様な価値観を受け入れ、幅広い視野に立ち納得解を生み出そうとする。	対話や協働を通じた他者理解を通じ <b>共感力</b> を高め、多面的に課題を考察しようとする。
学びに向かう力・人間性等 【何ができるようになるか】		「好き」や「得意」を大切に、自ら問いを立て <b>主体性</b> を発揮し課題解決しようとする。	他者と共に困難を乗り越える経験を通じ <b>利他性</b> を高め、支え合いながらともに成長しようとする。

## (2) 目指す学校像

- ◇保護者・地域に開かれ、信頼される学校
- ◇優しさと思いやりにあふれ、安心・安全に不安のない学校
- ◇全ての生徒の資質・能力を高める学校
- ◇全職員が誇りと意欲をもち、働きがいを実感できる学校



## (3) 目指す教師像

- ◇教育に夢と感動を求め、目の前の生徒の未来に責任をもつ教師
- ◇自己研鑽に励み、専門性を高める教師
- ◇いじめや差別に毅然と立ち向かう教師
- ◇郷土愛にあふれ生徒・保護者・地域住民に信頼される教師



[令和8年度文部科学省 授業時数特例校制度の運用について]

本校は令和8年度も文部科学省 教科時数特例校制度(詳細は岩見沢市 HP 参照)の運用を継続し、教育活動を展開します。各教科の時数を調整し、学びの土台を強固にするための特別活動(学級活動)の時間を多く設定していきます。

### 《資質・能力》



### 《学級活動の具体》

- 学習方略や学習計画、OK スタディ等
- 学びに向かう集団づくりプログラム



- PBIS(すてきな学級づくりプログラム)
- 協働を通じた集団づくりプログラム



- 現代的な諸課題に対応する教育(郷土教育・健康教育・法教育・主権者教育)

学年	1 年	2 年	3 年
国 語	135(-5)	135(-5)	103(-2)
社 会	103(-2)	102(-3)	137(-3)
数 学	135(-5)	103(-2)	135(-5)
理 科	102(-3)	135(-5)	135(-5)
音 楽	45	35	35
美 術	45	35	35
保健体育	100(-5)	100(-5)	100(-5)
技術・家庭	70	70	35
外国語	135(-5)	135(-5)	135(-5)
特別の教科 道徳	35	35	35
総合的な学習の時間	50	70	70
特別活動	60(+25)	60(+25)	60(+25)
合 計	1015	1015	1015

## わくわくを持ち帰れたかな？ 新入生体験入学

1月26日(月)4月から本校へ入学する小学校6年生が一堂に会し、中学校の説明と交流学习(ピア・サポートプログラム)を行いました。オリエンテーションでは、「ドキドキよりもわくわくを持ち帰る」という目標を設定しました。2校時は学習、生活、部活動に関することを中学校の教員が説明しました。聞く態度が素晴らしかったです。3校時は体育館にて、東小学校の戸井先生による「人間ビンゴ」「じゃんけん列車」などの交流を行い、短時間でしたがアイスブレイクになる時間を持つことができました。以下、振り返りです。



### 【東小】

- ・岩小の人たちはなじみやすい人たちでした。
- ・岩小の人たちが優しかったから話しかけやすかった。
- ・中学校に行くのが楽しみになった。

### 【岩小】

- ・東小で手を挙げて質問している人がいてすごいと思った。
- ・校舎の中がなんとなくわかったし綺麗だった。
- ・東小のみんなとたくさんしゃべれて良かった。4月に早く会いたいと思った。

## 東光中の「食育の日」

2月の学級活動の時間には、食育の授業が計画されており、2学年は、岩見沢市の共同調理所から講師をお招きして出前授業を実施しています(1・3学年は学級担任による授業を実施)。2月6日(金)4校時、岩見沢小学校所属の栄養教諭 小野敦子先生に「食品ロスを給食から考える」という題材で授業をしていただきました。給食での食べ残しはどうして起きるのか、食品ロスを減らすためにできることは何かを考えたり、その日のメニューの調理映像を見たりして、食を考える時間になりました。



### 3月行事予定 ※年間行事予定を配付していますが、こちらでもご確認ください

4日(水) 公立高校入試(学力検査)	17日(火) 全校議会・常任委員会
5日(木) 公立高校入試(面接等)	18日(水) いじめアンケート
6日(金) 授業参観・懇談会(1・2年)	19日(木) 1・2年標準学力テスト
10日(火) 3年生を送る会・同窓会入会式	20日(祝) 春分の日
11日(水) 卒業式総練習 公立高校入試(追検査)	23日(月) 1年球技大会
12日(木) 第79回卒業証書授与式 【給食なし】	24日(火) 2年球技大会・大掃除
17日(火) 公立高校合格発表	25日(水) 修了式・離任式【給食なし】
	3/26~4/6 学年末・学年始休業
	4月7日(火) 令和8年度始業式・入学式

### 【スクールカウンセラー来校日】

3月 3日(火) 13時~16時  
3月 17日(火) 13時~16時  
→予約は学校へお願いします。

### 【再掲】平日登下校時の車の乗り入れについて

本校では、生徒の安全確保のため、平日の登下校時間帯の校地内への自家用車の乗り入れをご遠慮いただいております。特に下校時は、放課後等デイサービスと特別支援学級生徒の送迎にかかわる自動車が駐車スペースを必要としています。生徒の登下校の際は、校門前の道路で、速やかな乗り降り、車の移動をお願いします。校門前で長時間の駐車は事故を誘発する恐れがありますので、ご遠慮ください。なお、特別な事情(けがで松葉杖を利用している等)がある場合は学校までご相談ください。

# 光陵

岩見沢市立光陵中学校  
Tel 22-0037

第 9 号  
令和 8 年 2 月 2 5 日  
発行責任者 桐淵則行



《 校訓「四つの光」》  
「知」の光…磨かれた知性  
「愛」の光…美しい心情  
「行」の光…徳行と技術  
「健」の光…すぐれた健康

《 教育目標 》  
自ら真理を求め、進んで学び、よく考える。  
自らあたたかな心を養い、友をいたわり、よく助け合う。  
自ら働く喜びを求め、責任を持って行動する。  
自ら健康に関心を持ち、気力に満ちた心身をきたえる。

《中央ブロック CA スローガン》 地域・家庭・学校が Win&Win のお付き合い～学校っていいな!地域っていいな!

## R8 スローガン 『挑戦夢創』 ～夢を原動力とした学校づくり～

光陵中学校は、これまでの各種調査の結果から、「学校に行くのは楽しい」と答えた生徒の割合が、過去 3 年間の低調な傾向から改善に向かい、今年度は 80.9%まで向上しています。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と答えた生徒の割合も 80.4%まで向上しています。しかし、全国学力学習状況調査で掲げている数値目標「学校に行くのは楽しいと答える生徒 85%」の達成にはまだ及んでいません。

そこで、令和 8 年度から 2 年間で、この両目標を確実に達成し、全ての生徒が学校に価値を見出し、他者との関わりの中で深い学びを探究できる教育環境の構築を目指したいと考えています。

新たな視点として、生徒が自己の「夢」を見つけ、挑戦する力を育むことを通して、ウェルビーイングを実現し、この両目標を達成する計画です。

そのイメージは、生徒と教師が集い、共に学び、生活し、成長する場としての学校の価値を最大化し、生徒や教師が「夢」という「燃料」を胸に、学ぶ楽しさや期待を感じながら「人のつながり」を基盤とした取組を徹底して行うことにより、「魅力ある学校づくり」を実現するというものです。

これらを踏まえ、令和 8 年度の学校経営の重点スローガンを「挑戦夢創」と掲げて、「夢を原動力とした挑戦と創造」を推進することといたしました。

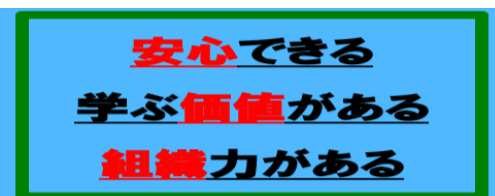
以下に 4 つの方針を重点として定めて、学校経営を推進いたします。

### 1. 学校経営方針の重点

- (1) 主任等を中心とした組織的な学校経営を進める  
⇒ リーダー分散型の連携協働体制を構築
- (2) 一人一人を大切にされた積極的な生徒指導を行う  
⇒ 学校に子どものセーフティーを構築
- (3) 授業が最大の業務、不断の授業改善を進める  
⇒ 「深く考えたくなる授業」を構築
- (4) 結果で保護者や地域に説明責任を果たす  
⇒ 「保護者を引き寄せる仕組み」を構築

### 2. めざす学校像・生徒像

「生徒・保護者・地域が自慢できる学校」  
「夢を抱き、自己実現できる生徒」



### 3 経営の重点目標

- ア 授業改革 「思考力を高める授業づくり」「自律を支える確かな学力の育成」
- イ 心の改革 「安心できる居場所づくり」「自己決定を導く回復力の涵養」
- ウ 接続改革 「保護者や地域の期待に応える」「納得解につながる協働力の育成」

◎3つの改革を三位一体で推進し、子供たちに以下のような3つの力を育成します。  
夢を原動力に、自己実現に向けて適切に判断し望ましい行動を選択できる生徒をめざしていきます。特に、自律を支える確かな学力を基盤とし、多様な他者と納得解につながる協働力を発揮し、失敗から立ち直り自己決定を導く回復力を持つ生徒を育てます。

#### 育成を目指す資質・能力

#### 自律を支える確かな学力

#### 納得解につながる協働力

#### 自己決定をつくる回復力 (レジリエンス)

#### ★次期学習指導要領の視点を踏まえ★

次期学習指導要領では、変化の激しい時代を生き抜く「自らの人生を舵取りする力」の育成が重視されます。これは単に知識を蓄えるだけでなく、「自分はどのように生きていきたいか」を考えながら、正解の無い問いに立ち向かう力です。

本校では「挑戦夢創」のスローガンのもと、生徒が自らの人生を切り拓く力を育てていきます。つまり、確かな学力を基盤に、夢に向かって適切に判断し、自ら行動を選択できる「自律」した姿をイメージしています。

正解のない時代だからこそ、失敗から立ち直る回復力を持ち、多様な他者と納得解を導き出す協働力を大切にします。生徒一人一人が「夢」という燃料を胸に、自分の人生の主演として「自らの人生を創造」していけるように、ご家庭・地域と共に温かく支えていければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。 校長 桐 淵 則 行

## 人生を舵取りする力

- ティーチング
- コーチング
- 免許が必要
- 羅針盤が必須
- 「好き」を育み「得意」を伸ばす
- 学校の学び
- 気づき

中央教育審議会素案

## 令和8年度 光陵中経営方針 重点スローガン 「 挑戦 夢創 」



舵を取る前に  
目的地の決定  
学校は  
夢を見つける

# 全国中学校スキー大会 快挙!! 全国制覇 全国3位

## ★— 3月の行事予定 —★

- 2日(月) 学費引落日(スキー)
- 4日(水) 公立高校入試学力検査
- 5日(木) 公立高校入試面接検査
- 9日(月) 同窓会入会式
- 10日(火) 卒業式総練習 SC来校
- 11日(水) 公立高校追検査
- 12日(木) 卒業証書授与式
- 17日(火) 公立高校合格発表
- 23日(月) 1, 2年標準学力検査
- 24日(火) SC来校
- 25日(水) 修了式・離任式 大掃除・机椅子移動
- 26日(木) 春季休業(～4月6日)



逆境超えて頂点歴史を創る  
**堤 柚菜** さん

一瞬の瞬間にすべてを賭す

大回転で全国制覇!

一月初旬、長野県・野沢温泉で開催された全国中体連スキー競技大会において本校二年生の堤柚菜さんが見事な滑りを見せてアルペン種目・大回転で全国の強豪を抑え見事優勝。一方、同じく二年生の芹川更憂さんが、ジャンプ種目で力強い飛躍を披露し、堂々の三位入賞を果たしました。中学生離れた総合力を示した堤さんと芹川さんの快挙は会場を大いに沸かせ、日本一と表彰台という成果で大会に確かな足跡を力強く刻みました。

## R7 全国体力調査の結果から

2年生対象の全国体力・運動能力調査の集計結果から本校の体力・運動能力の状況を見ると、ほぼ全ての種目で全国・北海道の全国平均より低い結果となりました。今後は日常の体育授業や運動習慣の充実を通して基礎体力の向上を図り、生徒一人一人の健やかな成長につなげていきます。

《男子》

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
北海道	50.9	49.2	48.6	48.6	47.0	48.6	48.1	49.5	49.7	49.0
学校	47.5	45.6	47.4	46.6	0.0	48.2	44.3	50.4	47.8	46.3
全国	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

《女子》

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
北海道	50.0	48.6	48.7	48.3	46.6	48.1	47.9	48.7	49.8	48.3
学校	45.7	44.6	47.4	45.1	0.0	45.8	44.9	44.7	45.9	42.7
全国	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

### 逆転V & 表彰台

堤さんは全国大会優勝を目標に強い気持ちでレースに臨んだものの、一本目で旗門に腕が引っかかるミスがあり、四位で折り返す苦しい展開となりました。それでも二本目のインスペクション(コースの下見)ではボールの位置や雪面の状況を丁寧に確認し、ターンの入り方を修正。攻める姿勢と冷静な判断を両立させた創意工夫の滑りでトップタイムを記録し、見事に逆転優勝を果たしました。

一方、芹川さんは「十位以

### 芹川 更憂 さん



大ジャンプで全国3位!

内入賞」を目標に大会へ臨み、プレッシャーを意識しすぎないよう自分のジャンプに集中。一本目、二本目とも安定した跳躍をそろえ自己記録をメートルほど更新する会心の内容で全国三位に入りました。競技後も「運が良かった」と控えめに語っていました。

### 感謝を胸に、次なる頂点へ — 挑戦を続ける二人

技術だけでなく精神面の強さも問われる全国の舞台で結果を残せた背景に日々の努力があります。堤さんは夏場も含めた厳しい練習を重ね、芹川さんも安定した二本を意識して取り組んできました。二人は家族やコーチへの感謝を語り、来季は堤さんが「回転・大回転二冠」、芹川さんが「優勝」を目標にしています。

二人の姿は本校が大切にしている「挑戦と創造」を体現しており、学校としても、努力を続ける生徒たちを応援していきます。

《校訓》 強く 正しく 明るく  
《キーワード》 チームで創る「共有・協働・貢献」

岩見沢市立緑中学校  
学校だより 第12号  
令和8年2月24日

緑の沃野  
みどり よく や

発行責任者  
校長 小野 篤夫

## 「なぜルールやきまりをきめているの？」

何度となく「職員室前の廊下は走らないようにしてください。」「静かに歩行してください。」とお願いをする。最初は心得なので、確認のための改めてのお願いである。しかしながら、何度となく心得が破られていくと「やめなさい」との指導になる。指導する方も指導される方も嫌な気分になる。走る人は大丈夫であろうと走るが何が起こるかは誰も分からない。職員室の前には、ガラス戸がある。職員室の出入り口から人が出でることがある。会議をしているときもある。いつか大きな事故になるのではないかと心が休まらない。学校には、誰もが安心して、そして安全に過ごせる最低限の心得があればよいと思うが、今、子どもたちに課せられたルールやきまりは、いくつあるのだろうか。

人の嫌がることをしているところを見たとき、皆さんは「駄目だよ、嫌がっているよ！やめた方がいいよ！」と声をかけることができているのだろうか。心知れた仲なら、言えることかもしれない。でも、今なら心知れた仲でも言えないのかもしれない。客観的にみて人の嫌がることをしている人は、自分も冗談半分にされたことがあるから、他人にとってその行為が大丈夫であろうと思っているのかもしれない。でも、嫌なことをされた人にとってはどうであろう。皆さんなら、どのように解決を図ればよいと思いますか。

学校生活を送ってもらう上で大切にしてほしいものの一つに「人に迷惑をかけない」ということがある。私見ではあるが、この世に完璧な人間はいないと思う。だからこそ、学校には「人にとって迷惑だな」「嫌なことかな」と感じたり気づいたりしたとき、どうすれば解決できるかなと集団で考え助け合う活動がたくさん設けられている。

先生や保護者など、関わってくれる大人に相談し、助けてもらうこともあるが、最終的には自分たちで考え、行動に移し、解決を図っていくことが、学校に通うことの意義にもつながるものとする。

日曜日にミラノ・コルティナ冬季オリンピックが終わった。4年に一度の祭典なので、これまでの努力は計り知れきれないものがあつたであろう。映像で見せてくれる勝者は敗者へ、敗者は勝者へ互いにリスペクトしている姿は実に美しい。一方で、国を代表して出場した選手に対して、SNS上で誹謗中傷するような書き込みがあつた。悲しいことである。

改めて考えてほしいと思う。今、緑中学校に必要なルールやきまりは自分たちのものになっているのか。緑中生一人一人が考える自治的活動に期待する。

## 1・2学年 保健体育科「スキー学習」

1月26・30日と2月2・6日の4日間、三笠市の桂沢国設スキー場で学習を行いました。

今年の冬の雪の少ない状況から一転、空知地方の寒波襲来の中での学習となりましたが、ゲレンデの状況にあわせてターンやスピードなどをコントロールする技術を磨く機会となったようです。

講師のボランティアの皆さん、用具やリフト代等でご協力くださっている保護者の皆さんのご支援のおかげで、今年も北海道の冬ならではの活動を実施することができました。ありがとうございました。



## 緑中生、活躍の軌跡

岩見沢市より「児童・生徒の文化、スポーツ及び社会参加活動の分野において、実績が顕著なもの」に贈られる、教育実践奨励賞・児童生徒優秀賞をたくさんの生徒が受賞しました。ここに紹介いたします。



### □岩見沢市教育実践奨励表彰受賞（奨励賞）

- 1年 村上 絢 「第47回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会北海道予選会 100m背泳ぎ 第一位(全国大会出場)」
- 3年 北川 月空 「第15回日本バツハコンクール全国大会中学C部門 金賞・第1位ヘンレ賞」
- 3年 村上 純 「2025年第43回JSSグランドチャンピオンシップ50m背泳ぎ 第2位」

### □岩見沢市教育実践奨励表彰受賞（優秀賞）

- 1年 森 陽葵 「2025年北海道卓球選手権大会兼全日本予選会カデットの部 女子シングルス第5位(全国大会出場)」
- 1年 北野 爽 「第32回北海道中学校新人陸上競技大会中学女子走高跳 第3位」
- 1年 高沢 泉 「第15回日本バツハコンクール札幌地区大会B部門 優秀賞(全国大会出場)」
- 2年 一ノ渡来稀 「北海道中学軟式クラブ秋季大会 第3位(全国大会出場)」
- 3年 佐々木壘生 「北海道中学軟式クラブ秋季大会 第3位(全国大会出場)」
- 3年 一戸 椿菜 「令和7年度第28回日本ヤングバレーボールクラブ優勝大会北海道予選兼 第9回北海道ヤングバレーボールクラブ優勝大会 第2位(全国大会出場)」

# SNS 上における暴力行為等の動画の投稿・拡散を受けて

報道等でご承知のとおり、生徒間の暴力行為が動画として撮影・拡散される事案が発生し、社会的にも深刻な問題となっています。

このことを受け、SNS 上での暴力やいじめに関する動画等の投稿・拡散は、場合によっては犯罪に該当する可能性もある、決して許されない行為であることを全校生徒に指導し、注意喚起を行いました。ご家庭におかれましても、SNS の適切な利用について改めて話し合い、利用に関するルールを確認していただきますようお願いいたします。

また、お子様の様子に変化が見られたり、不安を感じられたりした場合には、速やかに学校または関係機関へご相談ください。

生徒の安全と人権を守るため、学校と家庭が連携し、毅然とした姿勢で対応してまいりたいと考えております。ご理解とご協力をお願いいたします。

## SNSでの動画拡散は「いじめ」です：自分と友だちを守るためのガイド

### SNS動画拡散の恐ろしさと事実

**消えない「心の傷」と二次被害**  
拡散された動画やコメントにより、被害者は何度も苦しむことになります。

**「面白半分」では済まされない**  
軽い気持ちの投稿であっても、決して許されない重大な権利侵害です。

**撮影・投稿・拡散も「いじめ」**  
暴力行為そのものだけでなく、それを広める行為も人を深く傷つける加害です。

### あなたにできること：相談の重要性

**誰かに相談する、勇気を持つ**  
被害者はもちろん、動画を見た人も、いつでも誰にでも相談して良いのです。

**一人で抱え込むリスクを考える**  
相談せずに放置すると、被害が拡大し、解決がさらに難しくなる恐れがあります。

**見て見ぬふりをしない**  
あなたの「相談する」という一歩が、自分や友だちを守る力になります。

### 子ども向け相談窓口一覧(暴力行為・いじめ関連)

資料3  
令和8年1月現在

名称	所管等	電話番号・関連URL	概要
「相談窓口を探す」コーナー	子ども家庭庁	<a href="https://www.kodomo.cfa.go.jp/soudan/">https://www.kodomo.cfa.go.jp/soudan/</a>	子どもが抱える様々な困難(いじめ、心の悩み、人権侵害等)について、子ども自ら悩みを相談でき、SOSを発信できる相談窓口の情報を掲載しています。
24時間子供SOSダイヤル	文部科学省	なやみいぶろ 0120-0-78310 (24時間年中無休) <a href="https://www.mext.go.jp/a_mextu/hotoou/entoshidaru/05112210.htm">https://www.mext.go.jp/a_mextu/hotoou/entoshidaru/05112210.htm</a>	いじめで困ったり、自分や友だちの安全に不安があったりしたときに、全国どこからでも、24時間いつでも、電話で相談できる窓口です(通話料無料)。電話をかけた所在地の教育委員会の相談機関につながります。子どものほか、保護者などからの相談にも応じています。
子どもの人権110番	法務省	0120-007-110 (平日8:30~17:15) <a href="https://www.moj.go.jp/INKEEN/jinken112.html">https://www.moj.go.jp/INKEEN/jinken112.html</a>	いじめや体罰、虐待など、子どもをめぐる様々な人権問題についての相談を受け付ける専用相談電話です(通話料無料)。電話は最寄りの法務局につながり、法務局職員又は人権擁護委員が相談に応じます。
チャット人権相談(LINEじんけん相談、子どもの人権SOSチャット)	法務省	<LINEアカウント名> 法務局LINEじんけん相談 <検索ID> @linejinkensoudan (平日8:30~17:15) <a href="https://www.moj.go.jp/INKEEN/jinken01_00034.html">https://www.moj.go.jp/INKEEN/jinken01_00034.html</a>	チャット形式(LINE)で人権相談ができます。また、GIGAスクール構想による1人1台端末からも相談を受け付けています(子どもの人権SOSチャット)。
子どもの人権SOSミニレター(便箋兼封筒)	法務省	<a href="https://www.moj.go.jp/INKEEN/jinken01_00013.html">https://www.moj.go.jp/INKEEN/jinken01_00013.html</a>	全国の小中学校の児童生徒を対象に、便箋兼封筒付きのミニレターを配布しています。返信は、法務局職員又は人権擁護委員が行います。
子どもの人権SOS-eメール(インターネット人権相談)	法務省	<a href="https://www.jinken.go.jp/goriyousannai_chi/">https://www.jinken.go.jp/goriyousannai_chi/</a>	パソコン、スマートフォンなどからインターネットを利用して、いつでも人権相談することができ、後日、最寄りの法務局からメール、電話又は面談により回答します。
都道府県警察の少年相談窓口(ヤングテレホンコーナー)	各都道府県警察	<a href="https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syosenn/soudan.html">https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syosenn/soudan.html</a> ※前掲事項ごとに受付時間が異なります。	子どものことで悩みを抱えている御家族や、いじめ、犯罪等の被害に遭い、悩んでいることも自身のための相談窓口です(都道府県によっては通話料が有料となります)。

# インターネット上の書き込みなどに関する相談・通報窓口のご案内

対面 電話 メール チャット SNS SNS 左記マーク以外は各機関のWebフォームから相談

インターネット上の誹謗中傷やプライバシー侵害等のトラブルにあった



インターネット上の違法・有害情報を見つけた

解決策について相談したい

悩みや不安について話をしたい

違法薬物の販売情報、違法なわいせつ画像、児童ポルノ、爆発物・銃砲等の製造、殺人や強盗等の犯罪行為の請負・仲介・誘引、自殺の誘引・勧誘などを通報したい

**心のSOS まもろうよこころ (厚生労働省)**  
[www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro](http://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro)  
 生きるのがつらいほどの悩みや不安を抱えている方に対して、気軽に相談できる窓口を紹介しています。

どうしたらよいか分からない

ネット上の書き込み・画像を削除したい

書き込んだ相手に損害賠償を求めたい



身の危険を感じている／脅迫されている・犯人の捜査、処罰を求めたい

弁護士  
または

法的トラブル解決のための「総合案内所」 法テラス

☎0570-078374 [www.houterasu.or.jp](http://www.houterasu.or.jp)

問合せ内容に応じて解決に役立つ法制度や相談窓口に関する情報を案内します。経済的に余裕のない方を対象に無料の法律相談や弁護士費用等を立て替える制度があります(要件確認あり)。

サイバー犯罪の情報提供、相談窓口  
警察または居住地のサイバー犯罪相談窓口

[www.npa.go.jp/cyber/soudan.html](http://www.npa.go.jp/cyber/soudan.html)




ネットトラブルの専門家に相談したい

人権問題の専門機関に相談したい

プロバイダ等に削除を促してほしい(民間機関)

有害情報も通報したい(民間機関)

迅速な助言

違法・有害情報相談センター (総務省)



[www.ihaho.jp](http://www.ihaho.jp)

相談者自身で行う削除依頼の方法などを迅速にアドバイスします。インターネットに関する技術や制度等の専門知識や経験を有する相談員が、人権侵害に限らず、様々な事案に対して幅広くアドバイスします。



削除要請・助言

人権相談 (法務省)



☎0570-003-110  
[www.jinken.go.jp](http://www.jinken.go.jp)

相談者自身で行う削除依頼の方法などの助言に加え、法務局が事案に応じてプロバイダ等に対する削除要請<sup>(注)</sup>を行います。

※削除要請は専門的な知見を有する法務局が違法性を判断した上で行うものでありこの判断には時間を要する場合があります。



プロバイダへの連絡

誹謗中傷ホットライン



[www.saferinternet.or.jp/bullying/](http://www.saferinternet.or.jp/bullying/)

インターネット上の誹謗中傷について連絡を受け付け、一定の基準に該当すると判断したものは、国内外のプロバイダに各社の利用規約等に沿った対応を促す連絡を行います。



迅速な削除の要請

セーフライン



[www.safe-line.jp](http://www.safe-line.jp)

インターネット上の違法情報や有害情報の通報を受け付け、国内外のサイトへの削除の要請や、警察等への通報を行います。リベンジポルノの被害に遭われた方、いじめの動画等の通報も受け付けています。



サイトへの削除依頼

インターネット・ホットラインセンター(警察庁)



[www.internethotline.jp](http://www.internethotline.jp)

インターネット上の違法情報及び重要犯罪密接関連情報、自殺誘引等情報の通報を受け付け、ガイドラインに基づいて該当性の判断を行い、警察への情報提供とサイトへの削除依頼をします。



※上記機関以外に、一般的な情報セキュリティ(主にウイルスや不正アクセス)に関する技術的な相談に対してアドバイスを提供する窓口としてIPA「[情報セキュリティ安心相談窓口](#)」があります。

※上記のほか、学校や地方公共団体にある相談窓口も活用してください。

# 五稜



『五稜の精神』 確かな知性を身に付けよう【知】 豊かな感性を養おう【徳】 健やかな心身を育もう【体】

## 「志高く、自分を磨く」

校長 小林 広

- ・「高校卒業後の進路や将来の夢は？ 社会に出てからどんなことをしたいですか？」
- ・「ボランティアや地域との関わりなど、どのような社会貢献の気持ちを持っていますか？」
- ・「中学校生活で身に付けた力は？ 総合的な学習の時間で何を探究し、どんな力がつきましたか？」

先日行われた公立高校の推薦入試で、生徒たちが実際の面接で聞かれた内容です。知識の量ではなく、「自分の生き方を自分で考え、人と協力して新しいものを生み出す力」が問われています。

### 「志」を持って生きる

事前の面接練習で「将来どんな人になりたいですか」と聞くと、最も多い答えは「人の役に立つ人になりたい」でした。今後、どれほどAIが発達しても、本当の意味での「人を思いやる心と行動」は人間にしかできません。だからこそ、「どう生きるか」「どんな人になるか」という確固とした「志」を持つことが、これからの時代を生き抜く力になるのです。

### なぜ、勉強するのか

作家・喜多川泰さんの『手紙屋』にこんな問いかけがあります。「大きな木が一本倒れています。この木はこの世に存在する意味はありますか」。その木から割り箸が作れます。椅子も、本箱もできる。しかし何もしなければ、ただの薄汚れた木でしかありません。加工されることで、はじめて役に立つ存在になれるのです。私たちも同じではないでしょうか。自分を磨き、知識や技能を身につけることで、人や社会の役に立てるようになります。そして誰かのために働く喜びを知ること、人生はより豊かなものになります。その自分を磨く活動こそが、勉強なのです。

生きる意味は、生まれながらに与えられるものではなく、自分でつくっていくものです。様々なことを学ぶ中から、自分が役立てるものが見えてきます。しかもそれは、一つとは限りません。皆さんは一人一人がかけがえのない尊い存在です。自分を磨くことで人生にどんな大きな意味も与えることができる…皆さんは、そんな“希望の塊”なのです。

そして、学びは学校の中だけではありません。「学べば学ぶほど、自分がどれだけ無知であるか思い知らされる。自分の無知に気づけば気づくほど、より一層学びたくなる」…これはアインシュタインの言葉です。学ぶことに終わりはなく、中学を卒業しても新たな学びはずっと続いていきます。

卒業を迎える3年生には、本校で育んだ「思いやりと自分で考え行動する力」という翼を広げ、自分らしい人生を力強く歩んでいってほしいと思います。在校生には、この学校で築いてきた「安心できる土台」の上に、失敗を恐れずに立ち向かい続ける「折れない心（レジリエンス）」をさらに育てていってほしいと願っています。

最後に、この一年間、本校の取り組みを温かく見守り、ご支援いただきました保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。これからも「安心できる環境が、確かな学力の土台になる」という信念のもと、生徒たちの豊かな成長のために教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。引き続きよろしくごお願い申し上げます。

## 令和8年度での授業時数特例校制度の活用について

令和7年度から1、2年生において、総合的な学習の時間を拡大し、主に「言語能力」、「情報活用能力」、「問題発見・解決能力」の育成と「生命尊重教育」、「心身健康保持増進教育」、「教科等横断的な教育」「探究的な学習活動」の充実を図ってまいりました。令和8年度からは、3年生においても授業時数特例校制度の取組を進めます。

### 増減する教科等名およびその“時数見込み”〔令和8年度教科配当時間〕

3年生での5時間を減じる教科につきましては、社会、数学、理科、保体、英語とします。この機に内容整理を行い、授業時数特例校制度による拡大部分の25時間については、令和8年度から全学年とも次のようにいたします。削減した教科は、学習指導要領の観点に則った学習活動を維持できる範囲となっています。(未履修は生じません。)

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	特活	総合	総時数
1年 年間 時数	140 [135]	105 [100]	140 [135]	105	45	45	105 [100]	70	140 [135]	35	35 [48]	50 [62]	1015
2年 年間 時数	140 [135]	105 [100]	105	140 [135]	35	35	105 [100]	70	140 [135]	35	35 [48]	70 [82]	1015
3年 年間 時数	105	140 [135]	140 [135]	140 [135]	35	35	105 [100]	35	140 [135]	35	35 [48]	70 [82]	1015

今後も学校だよりやブログ等を通して、授業時数特例校制度の進捗状況含め令和8年度の学校の教育方針や特色ある教育活動について、お知らせしていきます。疑問等は遠慮なく照会いただきますようお願いいたします。

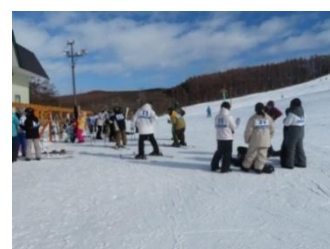
## 生活委員会による挨拶運動 1/20～1/28 で行いました

期間中、生徒玄関ホールで朝8時00分から8時15分まで生活委員会が中心となって、登校時の生徒に挨拶をして、“挨拶の輪”を広げました。自分から挨拶をして、相手にはたらきかける習慣を身に付けることを目的とした活動です。さわやかな一日の始まりに、生徒たちの笑顔のやりとりが気持ちのいい取組でした。



## スキー授業 ～荒天予報で2月6日は中止に～

1月30日(金)に1、2年A組が、2月13日(金)にはB,C組が、スキー授業をグリーンランドスキー場で行いました。今シーズンは少雪でしたが何とか間に合いました。



2月6日(金)は、当日午前から夜にかけての強風予報のため臨時休校で中止といたしました。実際には、天気予報ほどの天候の崩れはなく、惜しい結果となりました。生徒の安全確保のための措置としてご理解いただき、ありがとうございました。

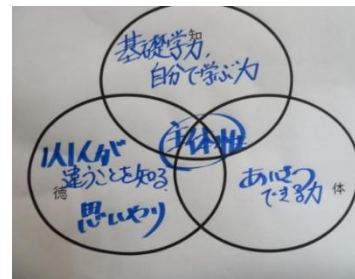
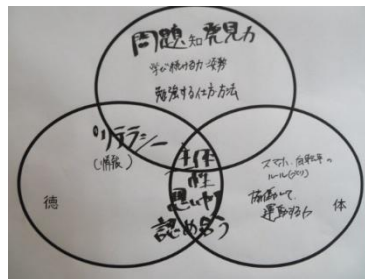
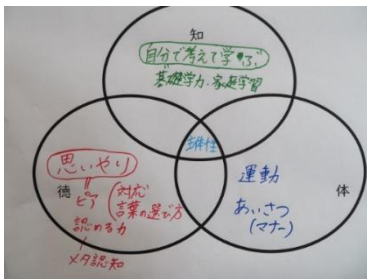
# 学校運営協議会 次年度の「目指す子ども像」を熟議

第3回学校運営協議会で、熟議・協議を通じて、小中学校9年間を見通した「目指す子ども像」の大きな方向性が共有されました。委員が3つのグループに分かれて協議を行った様子を紹介いたします。



## A、B、Cグループ協議の統合まとめ 次年度の目指す子ども像について

A、B、Cグループの協議の結果をまとめたベン図が次のようになりました。



### 1. 核心となる資質：『自ら未来を切り拓く主体性』

全グループのベン図の中央には「主体性」が据えられています。これは、学習においても人間関係においても、また健康な生活習慣においても、子ども自身が「自分自身の課題」として捉え、自律的に行動する姿を目指すものとなります。

### 2. 三領域（知・徳・体）の統合的アプローチ

#### 【知：確かな学力と探究心】

単に知識を習得するだけでなく、「勉強の仕方」を自ら工夫し、生涯にわたって学び続ける姿勢（学びの主体性）を重視する。情報リテラシーや問題発見・解決能力を養い、社会の変化に対応できる知性を育む。



#### 【徳：多様性の尊重と共生】

「1人1人の違いを知る」ことから始め、互いを認め合うピア・サポートの精神を大切にする。自分を客観的に見るメタ認知能力を養い、他者への思いやりを具体的な「発信する力」や「問題解決」につなげる、豊かな人間性を育む。

#### 【体：健やかな心身と社会性】

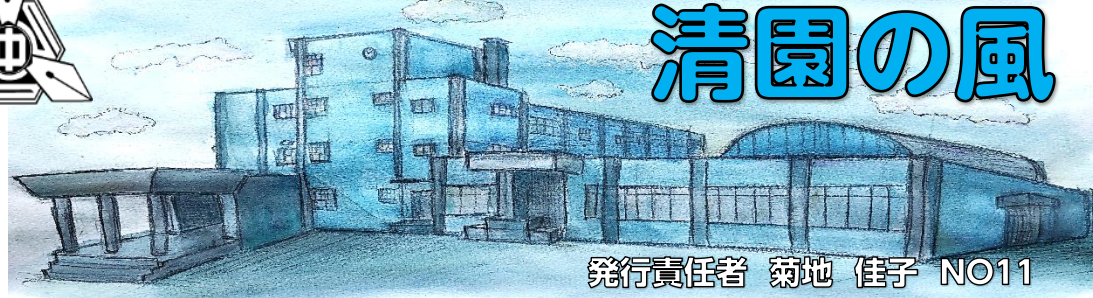
生活の基本である「あいさつ」や「マナー」を、社会とつながるための重要なスキルとして捉える。スマートフォン利用等の身近なルールづくりにも主体的に関わり、健康で安全な生活を自律的に送る力を育む。

### 3. 小中一貫・地域連携の視点

9年間の連続性の中で、小中の交流を深めることはもちろん、地域行事への参画などを通じて「自分の力が社会で役立つ実感」を持たせることが、主体性を育む鍵と結論づけられます。

# 3月の行事予定

日	曜日	行事予定	学年	1	2	3	4	5	6	給食
1	日		1							
			2							
			3							
2	月		1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3	○	○	○	○	○		☆
3	火		1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3	○	○	○	○	○		☆
4	水	公立高校入選(学力検査)	1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3							-
5	木	公立高校入選(面接)	1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3	○	○	○				-
6	金		1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3	○	○	○	○			☆
7	土		1							
			2							
			3							
8	日		1							
			2							
			3							
9	月		1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3	○	○	○	○	○		☆
10	火	同窓会入会式 卒業式練習 3年生を送る会	1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3	○	○	○	○	○		☆
11	水	卒業式総練習 式場準備	1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3	○	○	○	○			☆
12	木	第73回上幌向中学校卒業式	1	○	○	○				-
			2	○	○	○				-
			3	○	○	○				-
13	金		1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3							-
14	土		1							
			2							
			3							
15	日		1							
			2							
			3							
16	月		1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3							-
17	火	公立高校入選合格発表 1、2年標準学力検査	1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3							-
18	水	参観日、懇談会	1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3							-
19	木		1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3							-
20	金	春分の日	1							
			2							
			3							
21	土		1							
			2							
			3							
22	日		1							
			2							
			3							
23	月		1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3							-
24	火		1	○	○	○	○	○		☆
			2	○	○	○	○	○		☆
			3							-
25	水	修了式 離任式	1	○	○	○				-
			2	○	○	○				-
			3							-
26	木	年度末休業	1							
			2							
			3							
27	金		1							
			2							
			3							
28	土		1							
			2							
			3							
29	日		1							
			2							
			3							
30	月		1							
			2							
			3							
31	火		1							
			2							
			3							



発行責任者 菊地 佳子 NO11

# 清園の風



清園中学校区 3校接続スローガン

～利他共生～

自分で決めた！挑戦できた！  
と力強く書える学校・子ども

## 来年度に向けて ～4月からの清園中について～

校長 菊地 佳子

清園中学校は、中学校区の3校での協力体制“SMS”で来年度も教育活動を推進していきます。新年度スタートまでまだ1ヶ月ほどありますが、令和8年度の清園中学校の方向性について皆さんと確認していこうと思います。

### ☆清園中学校(SMS)の目指す子ども像 **自らの人生を舵取りできる生徒**

「自立」よりも前進させた考えです。自分で(場合によっては他者との協働により)決定し、予測困難な社会を自分のよりよい人生に向かって挑戦していく…このようなイメージです。

### ☆清園中学校が子どもたちに育成すべき資質・能力



#### 構造化された知識

授業や調べて得た知識をマイノートで整理し、思考・判断・表現の単元テストを解答する。



#### 批判的思考力・創造的思考力

「なぜだろう?」「どうやったら解決する?」生徒会でみんなが楽しめる体育祭の種目を考える。昨年までの種目はどうだった?アンケートで意見を集めよう!ルールを見直す!



#### 多様な他者と協働・自己調整力

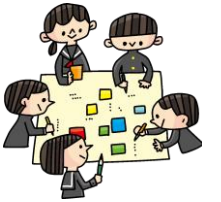
授業中に出された課題を・一人で・ペアで・グループでと選択して答えを出す。難易度が違う課題にどの問いをどんなやり方で挑戦するか自分で決める。

具体的な場面で

新しい試みではなく、清園中では既に教育活動の中で行われているものですが、特に意識して生徒と教員が共に獲得していく『資質・能力』です。

### ☆令和8年度に清園中学校が推進する『6つの重点』

- ①全ての教科で生徒が自らの学習を舵取りできる授業  
(学習課題、学習手段、学習形態の選択調整)
- ②自らの学びを舵取りする探究の実践
- ③MLA(包括的生徒指導)を全ての教育活動で実践
- ④サポートルームを中心に多様性の理解度の高い学校の創造
- ⑤小中接続の取組を通した9年間の継続性のある指導の充実  
(全教員による3校授業参観、全職員で担うSMS事業)
- ⑥教職員と生徒がパートナーシップの下で意思決定する。



### ☆授業時数特例校制度(令和8年度)

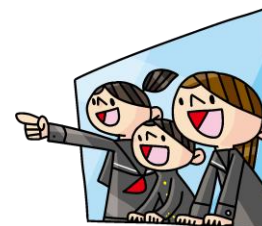
育成すべき資質・能力に迫るために「国、社、数、理、英」から全学年3時間ずつ合計15時間を「岩見沢型ピア・サポート」に4時間、「探究学習」に11時間を割り当てます。

### ☆不登校対策総合実践事業(全道で20校が指定。連携校はメープル小、志文小)

全ての生徒が安心して学ぶことができるよう「多様な学びの場や居場所」(校内教育支援センター)の整備を進めます。

### ◆多様性の理解度を高めるために◆

『不登校対策総合実践事業』を推進するにあたり、自分の教室で学校生活を送ることが困難な生徒、教室外でクールダウンが必要な生徒等のためにサポートルームの環境を整えます。多様性を理解し合い、認め合い、個別最適な学びができるよう個々の生徒に適した指導、対応(一般的に言われる「特別扱い」「ひいき」とは異なりますのでご理解ください)をしていきます。



一足早く来年度の清園中学校の方向性をお示いたしました。今後も皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

# 脚下照顧 (きゃっかしょうこ)

この言葉は、一般的には「履き物を揃えましょう」という意味で使われていますが、四字熟語としての本来の意味は、「自分自身を見つめ直し、よく反省せよ。また、自分の足元に十分気をつけなさい」という教えです。



この写真は「3年生の靴箱」の様子です。とてもきれいに整えられており、落ちていた靴は一つもありません。見ただけで心が落ち着きます。40年ほど前に設置された靴箱なので、長めのウインターシューズには少し窮屈かもしれませんが、生徒のみなさんが工夫して丁寧に使っている様子が伝わってきます。

3年生だけでなく1, 2年生の靴箱も整然としており靴がきちんと揃っています。履き物が揃うと心が揃う。昔ながらの教えですが、今の時代にこそ、とても大切な考え方だと身にしみて感じます。

# 面接練習

面接練習の中で、「あなたの長所と短所を教えてください」という質問をしました。生徒たちは、自分自身を客観的に見つめ、自己分析の結果を自分の言葉で表現してくれました。短所については、それを克服するためにどのような努力をしているか、これからどう取り組むかについても語ってくれました。

日常生活の中で、自分自身について深く考え、分析する機会はそう多くありません。面接練習がなければ、こうした自己理解の時間を持つことも難しかったかもしれません。

Kiroroの『未来へ』(1998年)という曲にこんな歌詞があります。

ほら 足下を見てごらん  
これがあなたの歩む道  
ほら 前を見てごらん  
あれがあなたの未来



面接練習での生徒たちの姿を思い浮かべながら、この曲が自然と頭に浮かびました。前向きな気持ちになれる歌です。

あと2週間ほどで、3年生は卒業の日を迎えます。中学校3年間を振り返り、自分自身を見つめ直し、4月からの新たなスタートに向けて、力強い一歩を踏み出してほしいと願っています。今、3年生はそれぞれの進路に向かって懸命に努力しています。

1・2年生のみなさんも、来年の今頃、再来年の今頃の自分を思い描きながら、今の自分の立ち位置を確認し、次の学年に向けて心と身体の準備を始めましょう。

# 3月の行事予定

日	曜	校内行事
1	日	
2	月	
3	火	諸活動停止日
4	水	公立高校学力検査日 式・式歌練習(1・2年)
5	木	公立高校面接検査日 成績一覧表提出(1・2年)
6	金	式歌練習(1・2年) 3年生を送る会
7	土	
8	日	
9	月	通知表印刷完成(3年)
10	火	同窓会入会

11	水	総練習・卒業式前日準備 公立高校追検査日 諸活動停止日	21	土	
12	木	第43回卒業式 諸活動停止日	22	日	
13	金	分掌・学年部会 諸活動停止日 通知表所見提出(1・2年)	23	月	諸活動停止日
14	土		24	火	
15	日		25	水	修了式・離任式 大掃除 机椅子移動 諸活動停止日
16	月	学活(話し合い⑦)	26	木	学年末休業 諸帳簿提出
17	火	公立高合格発表日 企画委員会	27	金	
18	水	委員会⑩(定例・対面式) 諸活動停止日 PTA監査・四役会議⑥ 職員会議(年度始・人事)	28	土	
19	木	諸活動停止日 通知表印刷完成(1・2年)	29	日	
20	金	春分の日	30	月	
			31	火	

# 令和7年度スキー授業！！

スキー授業が終了しました！！雪が少なくてヒヤヒヤしましたが1,2年生が元気いっぱい滑りまわりました！！

スキーの運搬に西村公一さん来嶋康之さんのご協力を頂きました！！



# PTA 厚生部 スポーツ大会！！

厚生部の皆さんが今年もスポーツ大会を企画してくれました！！当日はミニバレーで汗を流しました。ご参加頂いた方々ありがとうございました。



## 2 学年閉鎖

岩見沢市立明成中学校 校長 松野 岳彦

2月12日(木)、岩見沢保健所が管轄する地域に向けインフルエンザ注意報を発令しました。そのころの明成中は、2月9日(月)~12日(木)は、インフルエンザによる欠席者は全校で誰もいませんでした。

しかし、2月13日(金)に一変しました。

2学年全体の欠席者数は、前日は4人でしたが、2/13(金)になると、15人に急増しました。前日の3倍以上にもなっていました。

欠席者は学年の30%、出席者も含めたかぜ罹患率が50%を超える現状となり、学校医とも相談し、学年閉鎖措置にすることを決定しました。閉鎖期間は、2/13(金)3時間目から土日を挟んで月曜日までと判断しました。

しかし16日(月)午後の段階で、13日(金)以降にインフルエンザと診断された生徒が多く、閉鎖期間を1日延期し、閉鎖期間は計5日間となりました。

少し前のことになりますが、マスク着用、密回避、手指消毒が当たり前だったコロナ禍にはインフルエンザによる閉鎖はありませんでした。それを思うと、マスク、手洗いで自己防衛することの重要性を再認識させられます。

まだまだインフルエンザ感染予防が必要です。各自で予防し、蔓延を防ぐ取り組みをしていきましょう。

## 受験生ラストスパート

公立高校推薦試験で内定を得た生徒もいますが、道内の多くの中学3年生が挑む公立高校一般入試(学力検査)が3月4日となっています。入試日に向け、勉強もラストスパートとなっている受験生。勉強の追い込みも必要ですが、それ以上に大切なのが体調管理です。もちろん、保護者の皆さんもそのことは重々承知とは思いますが、受験生が体調万全な状態で試験当日を迎えられるよう、ご家庭でのサポートをお願いします。

今までの自分の頑張りに自信をもち、当日を迎えてほしいです。「頑張れ、受験生!」

3

March

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 4日(水) 公立高校学力検査 | 12日(木) 卒業証書授与式       |
| 5日(木) 公立高校面接等  | 17日(火) 公立高校合格発表      |
| 9日(月) 同窓会入会式   | 19日(木) 日の出小卒業式       |
| 10日(火) 3年生を送る会 | 23日(月) 標準学力テスト       |
| 11日(水) 卒業式総練習  | 25日(水) 修了式・離任式 通知表配付 |

## 令和7年度 全国体力・運動能力 運動習慣等調査 結果

中学2年生を対象とした全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についてお知らせいたします。下記の結果は、調査種目ごとに全国平均と本校の平均値を男女別に比較したものです。

男子は全国平均に比べて筋持久力や瞬発力が高い結果となりました。一方、それ以外の種目では、全国平均よりも下回っており、特に筋力面に課題が見受けられます。

女子は、全ての種目で全国平均を下回る結果となり、スピードや瞬発力に関する項目に課題があることが明らかになりました。

中学校 2年男子	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)
全国	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74
本校	25.26	27.00	42.35	49.18	73.96	8.70	202.86	19.46
全国比	87.3%	103.5%	93.9%	95.2%	93.8%	92.0%	102.7%	93.8%

中学校 2年女子	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)
全国	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43
本校	21.33	20.32	43.86	44.18	46.84	9.76	152.05	11.32
全国比	92.1%	93.6%	93.3%	96.6%	92.6%	91.9%	91.4%	91.1%

生徒質問紙の結果から、運動に対する意識や生活習慣に関する特徴的な項目を以下にまとめました。全体として体を動かすこと好む割合が全国に比べて低い傾向にあり、実際に運動する時間も全国平均を下回る結果となりました。

一方で全体的に運動に対する意欲は高い傾向が見られました。また、全国平均と比べて、毎日朝食を食べる生徒の割合が高いことがわかりました。その反面、睡眠不足を感じている生徒の割合が高く、テレビやスマートフォン、ゲームなどの画面を見る時間が長い傾向にあることが明らかになりました。

意識について(肯定的な回答を示した生徒の割合)	中学校2年男子		中学校2年女子	
	全国	本校	全国	本校
運動やスポーツをすることが好き	91.1%	83.3%	77.3%	77.3%
卒業後、自主的に運動したい	87.3%	90.9%	76.0%	77.3%
体力・運動能力向上の目標を立てているか	75.0%	79.2%	68.2%	70.6%

習慣について	中学校2年男子		中学校2年女子	
	全国	本校	全国	本校
体育以外の1週間の総運動時間(分)	758.5	685.9	520.3	494.0
毎日朝食を食べる	81.9%	87.5%	74.4%	68.2%
1日の睡眠時間6時間未満	6.1%	4.2%	8.6%	13.6%
TV・ゲーム・スマホ等の画面の平均視聴時間5時間以上	17.6%	33.3%	16.6%	23.8%

### 🔦 今後に向けて



今後は保健体育科を中心に、単なる体力向上だけでなく、運動の楽しさや達成感を味わいながら学べる指導の充実を図ります。また生徒一人一人が健康を保持・増進するための生活習慣を主体的に身に付けていけるよう、継続的な支援を行います。ご家庭におかれましても、規則正しい生活リズムの形成や運動に親しむ機会づくりについて、お声がけや見守り等にご協力をお願いします。

尚、岩見沢市教育委員会では、「運動習慣が学力に好影響を与えること」「親と子の運動習慣の関わりについて」等をまとめたパンフレット「スポチャレ」を作成しています。テトルにて配信していますので、ご一読ください。



祝    
 20回

# Snow フェスティバル

今年で20回目を迎えるスノーフェスティバル。その始まりは、当時の明成中学校の校長先生が「雪まつりを実施して、チューブ滑りをやりたい!」という熱い思いからでした。これまで多くの方々に支えられながら、日の出・明成校区の冬のイベントとして受け継がれてきました。感染症の影響により開催中止になった年もありましたが、「日の出愛」の思いを絶やすことなく、少しずつ形を変えながら、地域と学校が一体となって創り上げるお祭りとして、令和の時代まで続いています!

今年には20回目を記念した新企画を実行委員会で考案し、子ども達や地域の皆様と共に記憶に残る素敵な冬の思い出づくりを行いました。

祝    
 20回 記念企画

## 点火リレー ファイヤーストーム



### 「日の出愛」の炎を絶やさない!

願いを込めて企画した「点火リレー!」4名の児童・生徒が日の出の炎をつなぎました。



点火リレーアンカー  
生徒会書記  
吉田さん

生徒会副会長  
根本さんの  
「点火」という掛け声で焚火台に火がともりました。



朝山会長・厚谷会長による事前準備：焚き火用木材の加工

明成中公務補さん  
作成「トーチ」



焚火を囲み、パチパチと轟のはぜる音に耳を傾けるひととき

### 子どもたちに素敵な冬の思い出を!

実行委員会の願いは一つ。雪遊びの体験や地域のお祭りを通して、子ども達の心に残る思い出となることです。また、今回初めて企画した点火リレーを安全に実施するため、実行委員会で何度も協議を重ね、試作品や事前の実証を行ったうえで当日を迎えました。

祝    
 20回 記念企画  
無料提供  
焼き鳥・麦茶



焼き鳥・麦茶の提供にご協力いただいた  
PTA 役員さん、実行委員会の皆さん



朝山会長が「日の出愛」を語ります

## 児童会・生徒会企画



### ビンゴゲーム 雪中お宝さがし



「生徒会・児童会が活躍! 大盛況のスノフェス!」

生徒会・児童会の運営は素晴らしいものでした。役員が事前のリハーサルや景品の買い出し等に主体的に取り組み、地域のお祭りに関わる貴重な体験となっています。

## チューブ滑り



### 日の出小5年生制作 PTA役員さんによる 安全管理



日の出小5年生の  
来校前にエア注入!



### 子どもが運営に関わることの大切さ

チューブ滑りの制作は、小学5年生が担当します。幼稚園児や下級生の喜ぶ姿を想像しながら、上級生が会場設営を行い、大人はその活動を温かく見守ります。挑戦・協働・貢献を目指す日の出・明成校区の子どもたちを地域全体で支えています。

## 豆まきイベント



### 鬼退治に特別ゲスト 登場!

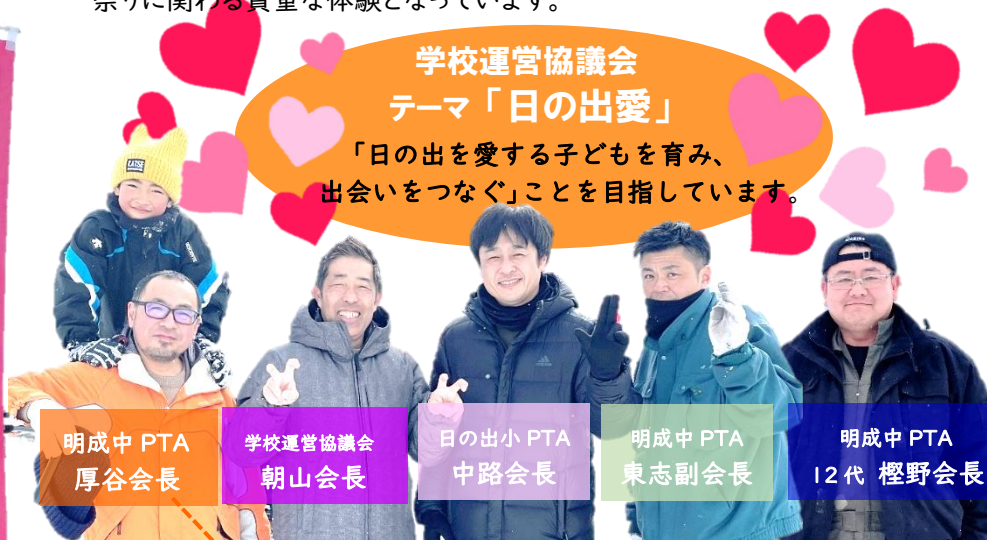


PTA 企画「豆まき」では、「桃太郎軍団」として小中の校長先生や PTA 役員が鬼退治に登場。最後の演出に会場中が騒然!!



## 学校運営協議会 テーマ「日の出愛」

「日の出を愛する子どもを育み、  
出会いをつなぐ」ことを目指しています。



明成中 PTA  
厚谷会長

学校運営協議会  
朝山会長

日の出小 PTA  
中路会長

明成中 PTA  
東志副会長

明成中 PTA  
12代 樫野会長

【厚谷会長】今年のスノフェスは、久しぶりの飲食を伴う開催ということもあり、参加者も例年より多く、大盛況だったと感じています。日の出・明成校区の魅力は、先生や役員に限らず、大人全体で子どもたちの成長に携わっていることです。「日の出愛」のテーマのもとに、今後も小中・地域全体で子どもの成長を見守っていきたいと思います。

## 学校運営協議会 会長 朝山 康夫 氏



20回目のスノーフェスティバルは、事故もなく、大盛況に終わって良かったです! みんなで知恵を絞れば、何でも出来てしまう「日の出の大人パワー」を改めて実感しました! 感謝です! これからも子ども達のためにこの取り組みを継続していきましょう!

日の出・明成校区の魅力・強みは、なんと言っても団結力です。個々のスキルを発揮して率先して動く、大人達が沢山いる! 別に何も言わなくても「子ども達のために!」という共通の想いが一体感を生んでいるのかもしれない。

ここで育った子ども達が、将来の日の出を盛り上げてくれることが、私たち地域の大人の夢です!